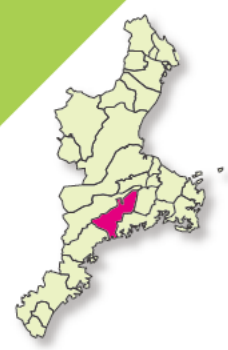




錦にしきタワー



津波つなみがきたら
タワーへGOゴー



錦にしきタワー
 昭和19年の東南海地震の大津波により、錦地区は多大な被害を受け、64名もの死者、行方不明者を出しました。この教訓を生かし、平成10年に緊急避難塔「錦タワー」が整備されました。錦タワーは、円筒形の高さ21.8mの5階建てであり、500人が避難できます。

【教材「三重の文化」P61】